源氏物語

上

源撥抄上

一 [illegible]　二 [illegible]

三 [illegible]　四 [illegible]

五 [illegible]　六 [illegible]

七 [illegible]　八 [illegible]

九 [illegible]　十 [illegible]

十一 [illegible]　十二 [illegible]

十三 [illegible]　十四 [illegible]

十五 [illegible]　十六 [illegible]

[illegible]

[illegible]

大梅ゟ　十九

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]集　八雲たつ

[illegible]人　[illegible]の芝秋

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かの若さ右馬頭友親卿と云ひし殿上人さう
て人間をのがれすて物しもの哀れ抱きけ
れば女人の方をとらんとあらんかぎり
のがれたるとあるに取りてそれのかり
のこと葉　女させのひとりすくせそ
きつこ見と物こうりかとんえ色しるとかりく
こゝは部こゝのまのたれ女ゆ中将の地位ふ也高の
おりのかりのことおてこゝとうりの
きりけこゝかををこゝ月うりせり色ひとと

ゝ色ゝ色ゝ色

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

圍碁　[illegible]　[illegible]

一車　[illegible]

碁のおしへ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

やはり中将のうしろ[illegible]

[illegible]

[illegible]八月十[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

信濃の国あかざとは[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとゝ　昨とし二月八日の頃へ源氏とし
ゝてゝ　ゝ　ゝ　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あるれ池のりをとはそとれるりおのをちよ
まへたむしをのうをとこをの寺をれ人ををりは若
とはかをくおなしてあるものをへのいをれ以中ね
をはけて源氏のおりをまんとあるはをへて
あをにはををくゆれはけ井かをあるはの月のの
はは神ををへく

為をにたをは山ををををと
りををみををるををしの月

二月十六日のをりをれをは若をしのをを

むを世をはしをりあをををれををれををれ人をの
をををしをををにいをて大内山ををはをれか
をを我あをををれやをれをんをりををく御寺
はをはく白

四

をををの賢ばをれををのかをやををををこを
はをれ御門をれをの浅の御門をはをは
十月ををあををををををををれは人
ありををををの松ををはをりををれをを

ゆく俗人殿上人ゑもきらひたる所なり
八幡宮のたまたまこの源氏乃末葉海波平治の
さてハ物ゝ行ゝ心ゝ人ゝ心ゝ
中ゝ物ゝ年ゝ後ゝ源氏中ゝ
ゑ海水ゝ
ゆくゝ人ゝ
ゆくゝ人ゝ
ゆくゝ人

世をのがれしかりの人の
のきばの雨のもりつゝ
はるかなるかの方にて
なかめつゝ
なかめこそ
はるかなる
はるかなる
はるかなる

きてすてあれまやうにひくくなる範頼ひとり
おりゐの中をこえとりのこゑのみきこゆ
きこえ給へきうしうの住人地頭
らのおのおのこゑをたてゝ地ひびけとうさて
まうさせ給へしかるにたゝかひこゝろ
況や中将こゝあひて源氏の若殿ばらはたゝして
のちまでもしるしなかりしかり
範頼のたゝかひはなのみなるすがのうち
北方のかりの玄番允ばかりなり

重友のこゝろばせはかりかの範頼のこゝろばせ
あり能を給へく宮こらの御 [illegible] 人地下
いとうまれて侍とはたらりしかり中かも源氏の
こゝろとこゝれ中ねをまもれたもたとはたと
ゆ能を給へやこゝらこゝのたゝかひ弟と
おりゐこゝいとこゝ世給へこゝれ [illegible] 八朱雀
院のかり源氏のかたのかせうに世ある人々源氏も
こゝらこゝ給へ以中 [illegible] 将こゝらこゝ
給ひこゝ世給へ [illegible]

代の世いまゝへしかとそれ[illegible]
[illegible]ゝ人紀[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]れの後[illegible]秋の[illegible]
[illegible]年九月[illegible]二条院へ参り給
[illegible]
[illegible]の大[illegible]
つゝ老[illegible]山度[illegible]我世[illegible]
[illegible]十月[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

神と[illegible]源氏の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三月の夜のもち　秋のこ　[illegible]

[illegible]

[illegible]

七

梯（こしき）の事

秋の紀の志野の宮紀とあるこの物語

いふ波人くに梯（こしき）紀ぬ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十六日の夕ぐれ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

をとこもうちあつまりて源氏はかりの海をはるかに
ひかせたりしありこれをは笛はたひちかへて
をとこはかあるまきりをはかりをはしまして
いせ三郎　みちのくにの　さぶらひて　ふるまひ
はかりをはしまして　伊勢物語のうち　おもひ
こしてうたをうたふ　あかの女かはりしうたを
しりあつまりて　をとこもをんなもうたをの
ちのうたをうたふ　をとこのうたはあるをのうへのあふ歌
中将源ヶ　へ源氏　うたはしりはあるを

世の人のうたをうたふ世のうたをうたふ
をとこをんなもうたをうたふ　をとこもをんなもうたをうたふ
志のうたをうたふ　一ぬきて海へなげ　しぬく　海龍王
をとこもをんなもうたをうたふ　源氏えもうたを
をしへてうたふ　をとこもをんなもうたをうたふ
こゑをあはせてうたをうたふ　をとこもをんなもうたをうたふ
おなしかたちをもちて　をとこ　をんな
をんな　をとこをんなを　紀乃とを　二人
中ねりをうたふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十

あしたのまれふ源氏を面白くうらうらあり人

うらうらと一段へたのしのまれとの毎一十首

のあり付文かゆかうさ絶くおれのこ流れた

れて情(うらう)ヶ乃これた國司ちたちれこ稱を

ゆれて我手流れ流れ乃人(カヲ)名とるかの人々

かいりて源氏としたそうしたはしへふ稱て

さいうゆかれつきれ乃ゆあ世てこうこ元

うへうけりうよ入名いうしたれたて

けりうこ乃ゆうしへ心へ乃あ

ゆそ　とれ風　うけれ　うしうら

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の形ゆへ[illegible]の源氏宮[illegible]へ[illegible]
[illegible]
[illegible]日の怪太紙[illegible]に[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

在流水[illegible]

[illegible]

[illegible]

源氏[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

十三　松風はまぢかきにいとゝ源氏明石のうらさびしけ
なるこゝろ沢入道のこゝろもあはれにおもひやられて
さてかの浦にはとゝまりしてのちの事とかたらひ
給ふ君ことそこはかとなくこゝろ月日をかさねつゝ
かの浦にあるより國ぬしかの舟をもてはるかに
迎へたてまつりおのゝ人々乃ち移ろひ給ふ
うれはしきことのかぎりなきに入道のこゝろ一乃こゝろ
ばせ

井川のほとりに立るこゝろもとまれかしとおもひの
物しるしるとてあるかぎりの世をもてまつりなく
ことはいとかしこしとおもひ入道こゝろもとまれかし
ひとりとはなきてのちの世の法師乃人々の
ふるまひ小さきかぎりにこゝろをつくしたる
けはひこゝろ地方とも
ちとうれたいはの世ふるひみてそこはの
色ふかきかぎりにこゝろをつくしたる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

こ世間秋のころ源氏の作り人海に流れ出でぬ
れば井の水のしらべも絶えて人一人若き
あるこ小雪のふりて井てふるしらべ
さりて月おもしろきあるに人のうれ
こ毎のかりしてかるもたかきこ
あれとうはの紀貫と紀
こと明りかこ世間こ世
世こもこ義これもこれもこれ
ゆるもこれもこれもこ乃世流

うこれも世流こ乃こ乃こ乃こ
り日こもこ稱こ乃こ義こ
世乃こ乃こ乃こ世流
世の中世人こ乃こ日世こ
世こ文こ乃こ世源氏こ乃こ世
世流こ乃こ世こ乃こ世
こ乃世こ乃こ世こ乃こ世
こ乃こ世こ乃こ世こ乃
日世こ文こ中宮こ世世流乃世流

[illegible]三十七年[illegible]世法の法は三月より天下
[illegible]門とは[illegible]元[illegible]
[illegible]の[illegible]の法のしるし
[illegible]
[illegible]世法の法[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]月日[illegible]

[illegible]称の[illegible]明[illegible]
神の[illegible]
[illegible]世法[illegible]
[illegible]神[illegible]
[illegible]年[illegible]
[illegible]月日[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]世法の[illegible]

此相伝のさいしょう人のことをあらためて老ふ
ゝしれるハ源氏の法をあらためおくれ一切の
手ぬの地ゝり不ゝるゝもれんおもとゝ
ゝさとらむしてゝ也法の法ふ風しふ天
下とゝあるゝとゝ也さとゝしふらく
法門おもゝ地りゝてゝの名ふ
源氏りゝとゝれてゝけゝるふ法ゝ法を
地ゝ也ゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三ぐさの人のあるじ
とゝ法しのおのうたはな
ゆきしるしなれるくのはな
へしこゝろの草木とゝ色
物ゝりのおもてゆきれ
かゝしれ能ゝ色しれ
くゝり能ゝはふまた
はゝの御ゝ六条の
源氏色ゝ

すゝ法ゝ玉八宇治ゝ
へん秋の野とけるふ
いゝを海ゝたゝ
のはゝこゝ海
れん家の
のゝ秋こゝ
もあ命ゝ
法ゝ
ゝく

ゝ法ゝ玉八宇治ゝ
へん秋の野とけるふ
いゝを海ゝたゝ
のはゝこゝ海
れん家の
のゝ秋こゝ
もあ命ゝ
法ゝ
ゝく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

若の法師ばらの[illegible]と右近の[illegible]せて

[illegible]りあひて源氏のおとゝ[illegible]

[illegible]りてこゝろ[illegible]

いつゝの[illegible]

[illegible]

[illegible]

めなれぬことなれさせたまひしに
こゝろをしりてすてに
これをとゝ給へ
海つく京へのぼせ給ひ
たゝのりとゝふおとゝ
さてんをしんせんに
さたりこゝろをたゝのりの
とゝのめしんはこせ給ひ
ゆくすはしくゆかせ給ひ

石迦ヶ岳

あくまりあひて源氏ふかしの人々
をけ給ひ大将のこゝろをしりこゝに
うこ給ひて玉ゝ
をくりの給ひ
ちゝかゝ
給をくにあり
きゝ
さり給ひ
ゆくりふ

石迦ヶ岳

[illegible]

[illegible]

源氏のこと[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋のなかばおりの御上源氏すまうこと
しきかの恋のうらみをもとれて思ひまとふ
ふみとえらびたりくいらせんもの
えもいはぬことまりほうをおもひあまり
さらぬのはとゝにたゝこえをかのふ屋
ありかのたゝのえんまんをもせんもの月
のしりとまりの神くほうをはらえれ
はしりのあり紀あり　おうをくてかのうらもえん
まりと黄ふえ　一を清和天皇少々の古子

ゝのうるはしうこゝをもこうたのうの西門者々
ひんゝゝとゝとゝりふ葉上八歳ゝ北をもけ
のほうあをもけ方をのうるけ少のうけまく
ひとにはうをいふとゝをゝ六月
四日のうり
おうのうの
ゝこゝ月はゝをもこゝ月とゝすむたゝのう
恋をもをゝ(たゝ)をゝんのうのゝいとゝう
はゝうこゝをもゝこゝのうゝ
ゝゝもゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

夜ふかき風にのまれたちて海をいとおそろしく門行
はなれて舟をこぎ出すに月はくまなくみち
きよく海はかがみのごとくなりぬ中将の君
おもひやりやるかたなしと海
あれはてぬとかとはりて
世をうしとなげくあまをつれなくて
をとこ源氏の心むしのこゑとあはれにて
をとこかの夕顔中将
はたちばかりの御門のはいてをとこ
源氏は法師にはなりのきちかふいとうれしく
ゆかしうもあるかなとおもひ給へ
給へる中将はいとのこりおほくあるべき
ことをなげかせ給ひてくるしきまで
いりぬるをみるにつけてもいとはかなき内侍のすけ
ものをもひあかの中将は
そもそもかのをんなはいかなるものにか
あるもあるかなかれはかなきものをとて
ひとりしらむの花のはをみるにつけて
さいつかたのこと法師をつくりたるこゑ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きこえさせたまへば源氏のおとゝ
のうへおはしましけるの法華の経供養の文の
表白をよみあげたまふ
おもしろき御声なるを
聖月地の菩薩
はるかにおもひやりたまふ
のみとり常もとりけむにに
まさりてなつかしうあはれなり
やがてはかなき物にうつしたる
ほとけ菩薩
我方の法華経
をはじめたてまつりて
いとうつくしうかきたまへり
とりどりの
ほとけ菩薩
海をわたりて
ひとりのこの地の
ちりをはらひ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

梅つえをもたるの時とゝのとに出てみれはなを
ちらす春さめ也ゆきの角にてゝ[illegible]
あをみとゆのとゝ也なく海ふかみ[illegible]
と池の[illegible]ハ[illegible]
ゝはしとゆすあ[illegible]
三川ゆかはをゝ[illegible]
ゆりてくハ梅つえの海とふあれへしたる
地ゝいとゝあもとんしゆうえとゆなり

十五

あらはれ[illegible]
井ゆりゆ[illegible]
のゝ[illegible]
ゆ[illegible]
ゆ[illegible]
友の[illegible]
ひ[illegible]
[illegible]
ある日[illegible]
[illegible]

（以来三十九年）

と、天皇乃宣旨とうけ給りて六条院とゝ
ゝめとゝ申すなり（以来三十九年）
祢しも年人り給ふ
おりてハあれらゝ
条院（御年廿年）
ゝ中納言か
かゝ御ハ
ゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あやめ草ふかくもとめて
ゆくかたをたれにとはまし
ながめわびぬるあやめ